

【実施報告】令和8年度「いのちの講話」を開催しました

■ 5月18日（月）、本校体育館において「いのちの講話」を実施いたしました。

本行事は、生徒が性に関する正しい知識を身につけるとともに、いのちの尊厳を実感し、自他尊重の精神や対等な人間関係を築く素地を養うことを目的として毎年開催しているものです。

講師に「助産院 あさ」代表助産師の吉 裕子様を毎年お招きしており、「自分のところとからだを守る生と性の話 ～高校生に伝えたいこと～」というテーマでご講話いただきました。1年次は性感染症の予防、2年次は性的同意等を中心にお話をいただきました。

また、当日は保護者の皆様をはじめ、千歳市の保健師・助産師や近隣中学校の養護教諭の方々にもご参観いただきました。



■ 生徒の事後アンケートより抜粋

- 自分や周りの人のからだやいのちを大切にすることは性に関することでも相手の気持ちや意思を尊重し、嫌がることを無理にしないことだと思います。また、自分の体を大切に、正しい知識を身につけて責任ある行動をとることも大切だと思います。
- 性に関する問題には、相手の気持ちを考えない行動や、性について正しい知識が不足していることによるトラブルがあると思います。SNSでの被害、差別や偏見、望まない妊娠、性感染症なども問題だと思います。お互いを尊重し、正しい知識を持つことが大切だと思います。
- 性的同意に関しての YES NO などの言葉での意思確認の不足や、妊娠に関しての知識不足による望まない妊娠だとか最も感染しやすい性感染症である性器クラミジア感染症のピンポン感染に気をつけるなど性に関する問題はすごく多いのにあまり知識を蓄えられる場面が少ないのも問題かなと思いました。
- 性行為だけに限らず、相手の同意を求めることは大事だと思ったので、今まで以上に相手のことを思いやろうと思った。
- 相手に避妊をするように頼むことも大事だけど、自分の身体は自分で守ることも大事だと思った。どんなに避妊しようとしても、100%安心できることはないの、しっかり責任を持ったり、相手のことを考えたりしていきたいと思った。
- 性に関する問題には、SNSでのトラブルや望まない妊娠、性感染症、性差別、相手の気持ちを考えない言動などあると思います。正しい知識を持ち、相手を尊重することが大切だと思います。



■ 終わりに

今回の講話を通じて、生徒たちは「いのちの重み」を再確認するとともに、社会の一員として、また一人の人間として、責任ある選択と行動をしていくことの大切さを学びました。

本校では、5月上旬からの教科保健における授業、そして今回の講話、事後の振り返り（ルーブリック評価）、さらに1年次はSEL-8「上手な頼み方と断り方」を連動させて実施しました。

最後になりますが、生徒たちの心に響く温かなご講話をいただきました吉裕子様、ならびにご来校いただきました関係者の皆様にご心より厚く御礼申し上げます。

